



# プログラム 2月16日(火)

## 開会 (13:00 ~ 13:20)

今年で6回目を迎える低炭素杯。  
張りつめた雰囲気の中、ピンスポットと共に小宮山実行委員長がステージ上に登場。  
「一緒に目撃者になりましょう！低炭素杯2016スタートです！」という、力強い挨拶とともに万雷の拍手が湧き上がり、会場の緊張と期待は最高潮にのぼりました。  
全ファイナリストの紹介VTRが流れ、続いて審査委員・スポンサー選考委員の紹介とともに低炭素杯2016が開幕しました。



ピンスポットの下で、オープニングアクトを務める小宮山実行委員長

## ファイナリスト38団体によるプレゼンテーション (13:20 ~ 16:50)

4分間という限られた時間の中で自分たちの活動を来場されたお客様に伝える為、直前まで練習をし、本番を迎えたファイナリストの皆さん。  
当日は、皆さん緊張した面持ちで会場にお越しになりました。  
学校や企業など所属先に拘わらず、学生から大人まで自分たちが今まで取り組んできた環境活動の内容を必死に伝える姿はとても印象的に残り、会場を感動の世界へと誘いました。

### 企業部門

1. 東京都	KDDI
2. 埼玉県	ジーベックシステム
3. 滋賀県	田中建材
4. 茨城県	岩井化成
5. 神奈川県	音力発電
6. 宮城県	スモリ工業
7. 静岡県	山梨罐詰、静岡県工業技術研究所
8. 大分県	三和酒類
9. 神奈川県	横浜市資源リサイクル事業協同組合
10. 群馬県	サンデンファシリティ ECOS グループ
11. 東京都	セコム
12. 埼玉県	ファインモータースクール
13. 東京都	タキロン
14. 東京都	三菱地所、日本電気
15. 神奈川県	昭和電工 川崎事業所

### 学生部門

16. 広島県	広島県立油木高等学校 ミツバチプロジェクト
17. 長崎県	長崎県立諫早農業高等学校 生物工学部 新エネルギー研究班
18. 大阪府	大阪府立長吉高等学校 サッカー部
19. 東京都	江東区立八名川小学校 5 学年
20. 愛知県	愛知県立佐屋高等学校
21. 鹿児島県	鹿児島県立薩南工業高等学校 建築工作同好会
22. 大分県	大分県立玖珠美山高等学校 チーム野菜
23. 静岡県	静岡県立富岳館高等学校 農業クラブ

### 地域エネルギー部門

24. 静岡県	静岡県工業技術研究所、静岡油化工業
25. 岩手県	葛巻町
26. 北海道	柳月
27. 東京都	TOKYO 油田 2017 (ユーズ)
28. 静岡県	しずおか未来エネルギー

### 地域部門

29. 岡山県	岡山西温暖化対策地域協議会
30. 香川県	内濱太鼓台世話人会
31. 静岡県	省エネ推進ネットワークぬまづ
32. 東京都	江東エコライフ協議会
33. 千葉県	千葉大学環境 ISO 学生委員会
34. 福岡県	福岡アイランドシティ CO2 ゼロプロジェクトチーム
35. 岡山県	子ども環境プロジェクト (学童プレハブ 6℃作戦)
36. 佐賀県	はちがめ生ごみステーション市民の会 栄町グループ
37. 鳥取県	米子工業高等専門学校 B&C 研究同好会
38. 山形県	庄内町地球温暖化対策地域協議会





司会の櫻田彩子さん  
素敵な笑顔で会場を和ませます



セコム



静岡県工業技術研究所、静岡油化工業



はちがめ生ごみステーション市民の会



大阪府立長吉高等学校



しずおか未来エネルギー



TOKYO 油田2017(ユーズ)



ジーベックシステム

## 交流会 (17:30 ~ 19:00)

一日目の夜は交流会を開催しました。出席者はファイナリスト、地域の地球温暖化防止活動推進センタースタッフ、低炭素杯の委員やスポンサー等の関係者、総勢130名程。

所属している団体の活動内容や規模などに拘わらず熱心に情報交換や交流を深め合いました。





## プログラム 2月17日(水)

### 《同時開催》

#### 特別シンポジウム (13:00 ~ 14:15)

「地域にとって最適で、最も効果的な取組を増やすために  
～地域のことは、地域で学ぶ、決める、動かす」

同時開催の特別シンポジウムでは、日本の持続可能性を高めるために、地域の進化が不可欠であること、そのためには地球温暖化防止をはじめとする地域での活動も、各地域の自然・気候や人口構成の推移、それにもとづくエネルギー消費の特徴など、地域の特性を正確に把握し、それに応じてテーマの選定や取組の進め方を見直す必要があることについてお話しをして頂きました。



講師 川北 秀人  
I I HOE [人と組織と地球のための国際研究所]代表

#### ベスト長期目標賞表彰式 (14:20 ~ 14:45)

低炭素杯 2016 では低炭素杯実行委員会において長期目標賞特別審査会を設置し、長いスパンのCO2排出削減目標を掲げ、積極的に取り組む企業及び自治体を表彰する今年度限りの特別な賞として「ベスト長期目標賞」を設け、厳正な審査を行い、自治体 158 件から 7 件、企業 256 社から 10 社を受賞団体に決定いたしました。



#### 受賞自治体・企業一覧

自治体部門	大賞：長野県 横浜市、富山市、名古屋市、豊田市、北九州市、御嵩町
企業部門 (五十音順)	大賞：トヨタ自動車 大林組、カシオ計算機、キリンホールディングス、コニカミノルタ、サントリーホールディングス、ソニー、大成建設、日産自動車、本田技研工業

